

# ワイドパワー®粒剤

■種類名：ペノキスラム・ベンタゾン粒剤  
 ■有効成分：ペノキスラム-----0.12%  
 ベンタゾン-----11.0%

■登録番号：第22513号  
 ■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)  
 ■登録初年：2009.11.18  
 ■性状：類白色細粒  
 ■有効年限：5年  
 ■包装：3kg×8袋

## 【特長】

- 新規有効成分ペノキスラムとベンタゾン混合の粒剤タイプの中・後期除草剤。
- 前処理剤で残したイネ科雑草および広葉雑草に高い効果を示す。
- SU抵抗性雑草にも高い効果を有する。

## 【適用内容】(2021年10月末日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ペノキスラムを含む農薬の総使用回数	ベンタゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ(東北) ヒルムシロ オモダカ クログワイ(関東・東山・東海を除く) シズイ(東北、関東・東山・東海)	移植後20日 ～ノビエ5葉期 但し、 収穫60日前まで	砂壤土 ～埴土	3kg /10a	1回	落水散布 又はごく 浅く湛水 して散布	全域(北海道を除く) の普通期 及び早期 栽培地帯	2回以内	2回以内
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲4葉期 ～ノビエ4葉期 但し、 収穫60日前まで	砂壤土 ～埴土				全域		

## 【効果・葉害等の注意】

- 本剤は水の移動に伴う移行性が大きいので、一般に水深が浅いほど効果が安定する。
  - ◆ できるだけ落水状態(足跡に水が残っている状態)にして、水の出入りを止め、まきむらのないように均一に散布する。
  - ◆ 水を落とすことができないところでは、漏水のない水田に限り、できるだけ浅水状態(雑草が水面上にでる状態)にしてまきむらがないように均一に散布すること。
  - ◆ 散布後2日間はそのままの状態を保ち、入水、落水、かけ流ししないこと。  
また、散布後7日間は降雨の有無にかかわらず落水、かけ流しはしないこと。
  - ◆ 処理後2日以内に降雨があると効果が不十分になるおそれがあるので、晴天の持続する時の使用が望ましい。
- 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失ないように適期に散布すること。
- 砂質土及び漏水のはげしい水田では使用しないこと。
- 本剤を移植水稲に使用する場合は、ノビエの5葉期までに時期を失ないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリは5葉期まで、ウリカワは4葉期まで(関東・東山・東海、九州は5葉期まで)、オモダカは矢じり葉抽出期まで、クログワイ、シズイは草丈20cm以下、ヒルムシロは生育期までが本剤の散布適期である。
- オモダカ、クログワイ、シズイの防除は、必要に応じて有効な前処理剤と組み合わせて使用すること。

- 本剤を直播水稲に使用する場合は、ノビエの4葉期までに時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイは4葉期まで、ミズガヤツリは3葉期まで、ウリカワは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前～始期が本剤の散布適期である。
- 軟弱稲では薬害のおそれがあるので使用は避けること。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害する恐れがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意すること。
- 本剤を直播水稲で使用する場合、稲の根が露出する条件では、薬害を生ずるおそれがあるので注意すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

#### 【安全使用上の注意】

- ❖ 誤食などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。  
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ❖ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。